

**編集
後記**

昨年(昭和43)の11月から3回にわたって特集号が続きましたが、本号は久しぶりの「普通号」です。今こうして目次を見ると、あらためて土木工学というものがどんなに多岐にわたっているかに気が付きます。Civil Engineering という言葉は、18世紀の中頃から使われはじめたようですが、その中から多くの工学が分化して行きました。しかし、この日進月歩の世の中では、新しい問題がつぎつぎに生み出されて行き、その中のいくつものが土木工学の広い分野に組み込まれてきました。この傾向はまだまだ続くことでしょう。

本号の内容から拾ってみても、都市再開発や空港の問題は、私たちにとって比較的新しいものです。また先号に特集として取りあげた「海洋工学」も、ますます重要な課題として土木の分野に入ってくることになるうと思われまます。

名神高速道路ができて、「高速自動車道路とはこんなに立派なものか」と驚ろいたのも、つい昨日のことのような気がしますが、2月1日には東名高速道路の静岡一岡崎間が社会の大きな注目のうちに開通されました。しかし他方には、潜在的に第二の飛騨川事故の危険性をはらみながら、社会的に取りあげられることの少ない多くの山岳道路があるのです。このような意味を考えなが

ら、本号の「山岳道路のかかえている諸問題」に目をお通し下さい。

これからの土木工学はどちらへ向かうのだろうか、土木技術者はいかにあるべきなのか、そのためにはどのような教育が行なわれなければならないのか、また、土木学会は其中でどんな役割を果たして行くべきなのか。これらの問題は、これまでも多くの人たちによって機会あるごとに議論されてきました。科学技術が目まぐるしく進展している今日、問題は特に重要で、決して論議しつくされることのないものでしょう。「工学教育の目標についての研究」や「座談会・土木の将来のあり方と土木学会」は、これらの点で多くの示唆にとんでいるものと思います。

話とはびますが、昨年(昭和43)の十勝沖地震では、鉄筋コンクリートの建物の被害が話題になりました。専門家の中にも、コンクリートの施工時期と気候条件などにも問題があったのでは、という意見が聞かれます。寒いときの寒い話題「寒冷地土木の話題」も興味深いトピックです。立春は過ぎたとはいえ、まだ厳寒の季節が続きます。読者各位の御自愛を祈ります。

(片山恒雄・記)

会員の入退会について(昭和43.12.1~31)

入会	38名	(正 35 学 3)
復活	2名	(正)
退会	22名	(正 18 学 4)
死亡	5名	(名誉 2 正 3)
転格	11名	学 → 正 8 正 → 学 3

会 員 現 在 数

名 誉	正会員	学生会員	賛助	特級	特1A	特1B	特1C	特1D	特2	合 計	前月比(増)
69	20 681	5 567	30	19	16	55	212	338	72	27 050	(13)

名誉会員	大 蔵 公 望 君	日本交通公社顧問, 元貴族院議員	昭和 43.12.24	死去	86 才
"	齊 藤 静 脩 君	全国漁港協会理事	" 43.12.11	"	84 才
正会員	粕 谷 逸 男 君	日本鉄道建設公団海峽線調査部長	" 43.12. 8	"	52 才
"	吉 永 治 大 君	" 下関支社工事部長	" 43.12.10	"	50 才
"	加 藤 静 雄 君	昭和第1工業高等学校	" 43. 7.	"	57 才

昭和44年2月10日印刷

昭和44年2月15日発行

土木学会誌 第54巻 第2号

印刷者 大沼正吉

印刷所 株式会社技報堂

東京都港区赤坂1-3-6

口絵写真印刷者 若林孟夫

口絵製版印刷所 榑若林原色写真工芸社

東京都港区芝金杉川口町20番地

発行者 羽田 巖

発行所 社団法人土木学会

東京都新宿区四谷一丁目

定 価 250 円(送料30円)

振替 東京 16828 番

電話 (351) 5130(編集直通)・5138・5139番

すべてのダムを網羅した最新の実用的資料大成

「ダム年鑑」改題

ダム総覧

1969

B5判 700頁 定価 2,800円 (送料別*)

我が国に現存する約2千のダムを統計的に取纏めた資料は従来非常に乏しく、時折刊行されても特定の目的に限られたものであったが、本書は既設及び建設中の堤高15m以上のすべてのダムを、水系別、目的別、型式別、規模別に網羅した集成資料であり、ひとり電力関係者だけでなく農業土木・治水・利水に関わるすべての技術者の需めに応え得る、まさに多目的時代のダム総覧である。

〈特色〉

▶既設及び建設中の堤高15m以上のすべてのダムを水系別・目的別・型式別・規模別に網羅/目的別の分類では全国の農業用ダム及び砂防ダムを計画段階のものも含め道府県ごとに系統的に収録した▶河川総合開発計画・治水五カ年計画・土地改良長期計画の詳細を解説/工業用水・水道用水の需給計画を展望した▶全国のすべての水力発電所を水系別に収録し必要データを掲載/水系別の発電所所在概念図を挿入した▶建設中の主要ダム及び水力発電所の工事進捗状況を掲載した。

《主な目次》

第1編 全国ダム施設現況

- (1) 五十音順ダム一覧表
- (2) 水系別ダム一覧表
- (3) 目的別ダム一覧表
 - (3)-① 河川総合開発事業による竣工ダム
 - (3)-② 発電用ダム
 - (3)-③ 農業用ダム及び農業関連ダム
 - (3)-④ 工業用水道関係水源施設
 - (3)-⑤ 水道専用ダム
 - (3)-⑥ 水道関連多目的ダム
 - (3)-⑦ 砂防ダム
- (4) 型式別ダム一覧表
 - (4)-① 重力ダム
 - (4)-② 中空重力ダム
 - (4)-③ バットレスダム
 - (4)-④ アーチダム
 - (4)-⑤ ロックフィルダム
 - (4)-⑥ アースダム
- (5) 高さ順ダム一覧表

第2編 ダム建設の現況と計画

- (1) 治水五カ年計画と河川総合開発事業
- (2) 土地改良長期計画とダム建設
- (3) 全国の水需給の展望
- (4) 昭和43年度河川総合開発事業一覧表
- (5) 昭和43年度治水ダム建設事業一覧表
- (6) 昭和43年度農業用ダム建設事業一覧表
- (7) 施工業者別ダム工事進捗状況一覧表

第3編 全国水力発電所現況

- (1) 水系別全国発電所設備現況
- (2) 10電力長期開発計画一覧表
- (3) 揚水発電開発地点調査一覧表
- (4) 水力発電所建設工事進捗状況一覧表

第4編 付帯設備と納入実績

- (1) ゲート (2) 水圧鉄管 (3) 水車・発電機
- (4) 埋設測定機器 (5) セメント (6) フライアッシュ (7) 主要ダム建設機械 (施工、資材)

業者一覧

- 第5編 補償
 - (1) 主要ダム補償物件一覧表
 - (2) 発電所建設買収補償費一覧表

第6編 法令関係

- (1) ダム検査規定
- (2) ダム構造基準及び同細目

英語版

WORLD DAMS TODAY

好評発売中

(世界のダムの今日)

A4判/436ページ
写真400葉/図表多数
定価/国内 ¥4,000

月刊「ダム日本」 B5判・約50ページ 半年600円 1ヵ年1200円

発行所 日本ダム協会

東京都中央区日本橋堀留町2-2大和銀行ビル
電話東京(03)661-6105・0720
振替口座 東京189606 ①103

(日販・東販でも)
お取次ぎします)

* 1冊の送料は次の通り。第1地帯：都内70円、(都外)120円、第2地帯：160円、第3地帯：230円